

特集・研究会活動

防災研究会



防災研究会の紹介と活動報告

北海道技術センター防災研究会 会長

技術士（建設部門、総合技術監理部門） 高 宮 則 夫

1. 防災研究会の組織・活動目的

防災研究会は、科学技術者の集まりである(株)日本技術士会北海道支部・北海道技術士センター会員で構成されています。本会は、防災に関する諸問題を研究し、北海道の災害を最小限に食い止める防災体制のあり方、更に防災型国土のあり方等を提言することを活動の目的としています。

防災研究会は平成9年度に発足され、組織は会全体の運営事務を行う事務局と防災に関する各々研究をする5つの専門部会から構成されています。総合幹事会によって事務局と専門部会の連携および研究テーマの取りまとめを行っています。

専門部会と主要研究テーマは、以下のとおりです。

- ・情報系部会
情報、通信、防災、危機管理等に関する研究
- ・地盤系部会
地形、地質、活断層、土地利用等に関する研究
- ・交通系部会
社会基盤施設やそのネットワーク等に関する研究
- ・都市系部会
都市計画、施設、ライフライン等に関する研究
- ・水工系部会
河川、海岸、港湾、ダムなどに関する研究

平成15年9月現在の総会員数は89名であり、構成員の内訳は以下のとおりです。（組織図参照）

事務局 高宮会長、松井副会長、富澤幹事長
城戸副幹事長、林副幹事長 計5名
情報系部会 加治屋部会長、森幹事（含） 計15名
地盤系部会 高橋部会長、北幹事（含） 計16名
交通系部会 桑田部会長、木村幹事（含） 計20名

都市系部会 一立石部会長、樺澤幹事（含） 計17名
水工系部会 瀬川部会長、渡辺幹事（含） 計18名

2. 研究活動内容

防災研究会の主要な活動内容は、防災に関する情報・研究を主体とし、その一環として各専門部会会議活動及び防災研究セミナー（CPD対応）を随時開催しております。

現在までの研究成果として、平成9年5月に「技術士からの提言——地震災害に備えて」という提言書を出版し道内各地でシンポジウムを行いました。また、第Ⅳ期（平成13、14年度）には研究テーマである「都市型防災」に関する活動報告書を発刊しております。引き続き、今第Ⅴ期（平成15、16年度）には「市民」を対象とした防災提案を行うことを予定しています。

今後も防災研究会では、研究成果の社会への有用な提言を目標に、防災に関する認識向上の視点から幅広く研究活動を進めていく考えでおります。

3. 入会について

最後に、防災研究会ではセンター会員であることのみを入会条件に、自分の専門を生かすべく意欲のある方々を対象に、広く会員を公募しております。希望者は下記mailの事務局幹事まで御連絡下さい。

事務局 富澤幸一 ko-tomsw@ceri.go.jp

城戸 寛 hiroshi.kido@sapporo.jp

林 宏親 hayashi@ceri.go.jp

防災研究会・新組織図

